

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|-----|----------------|
| ○事業所名 | キッズボンドいまいせ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 1月 15日 | | ～ 2025年 1月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 15名 | (回答者数) 15名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 1月 15日 | | ～ 2025年 1月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) 8名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 2月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | ・音楽療法士を配置している。 | ・音楽を通じて、子どもたちの興味関心に沿った活動を提供、 子どもの主体性や対話を大切に活動を提供している。 | ・集団活動が主なので、今後は、さらに個々に応じた支援の 充実が図れるように、活動プログラムの工夫を行っていきま す。 |
| 2 | ・職員間でのミーティングをこまめに行い、情報共有や疑問解 決を行っている。 | ・毎日の受け入れ前ミーティングで、利用者様の様子や状況な ど些細なことでも情報共有をし職員同士が把握するようにして いる。 | ・職員一人ひとりの気づきを職員全体の気づきとし、次の支 援につなげていくことと、保護者様・学校や他デイと共有 し、子どもたちに関わる人たちと共通理解を深めていき たい。 |
| 3 | ・欠席対応が柔軟である。 ・保護者様へのサポート。 | ・体調不良で欠席の場合も振替日を伝え、ご利用可能日数を利 用できるようにしています。 ・電話やメール等での相談があった場合には、時間調整を行 い、ご家族様の思いに寄り添い、一緒に方向性を導き出せるよ うに面談等を行っています。 | ・毎月の利用可能日数・予定・実績を一目で確認できるよ うに一覧で管理し、電話対応時、どの職員でも答えられるよ うにしておく。 ・一緒に学びを深める機会や子どもたちの発達や成長を理解 する視点を伝えるというペアレントトレーニング等の方向に もつなげていきたい。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | ・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者 様同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされて いる。またきょうだい向けのイベントの開催等により、きょう だい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援 がされている。 | ・保護者様同士の交流する機会が少ない。 ・きょうだい向けのイベントを開催していない。 | ・定期的に保護者様に事業内容や活動内容、子どもたちの成 長を伝えられるような機会や保護者様同士の交流の機会を継続 して設けていきたい。 ・参加しやすい曜日や時間帯、参加してみたい内容など、保 護者様の移行を取り入れ、様々な方法を試していきたい。 |
| 2 | ・事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練が行われている。 | ・訓練の実施について見える化ができていない。 ・毎月の通信やFacebookでご利用者様の様子を発信してい るが保護者様に伝えられていない。 | ・訓練での子どもたちの様子や課題や対応策などの気づきを その都度、保護者に見える化し、共有していきたい。 |
| 3 | ・地域交流の機会が少ない。 | ・子どもたち、地域の人の安全を考え、交流する機会が少な い。 | ・地域施設、公共機関と連携し、地域交流の機会、経験が制 限されないようにしていく。また、現在、行けている施設の 利用は、今後も増やしていく。 |